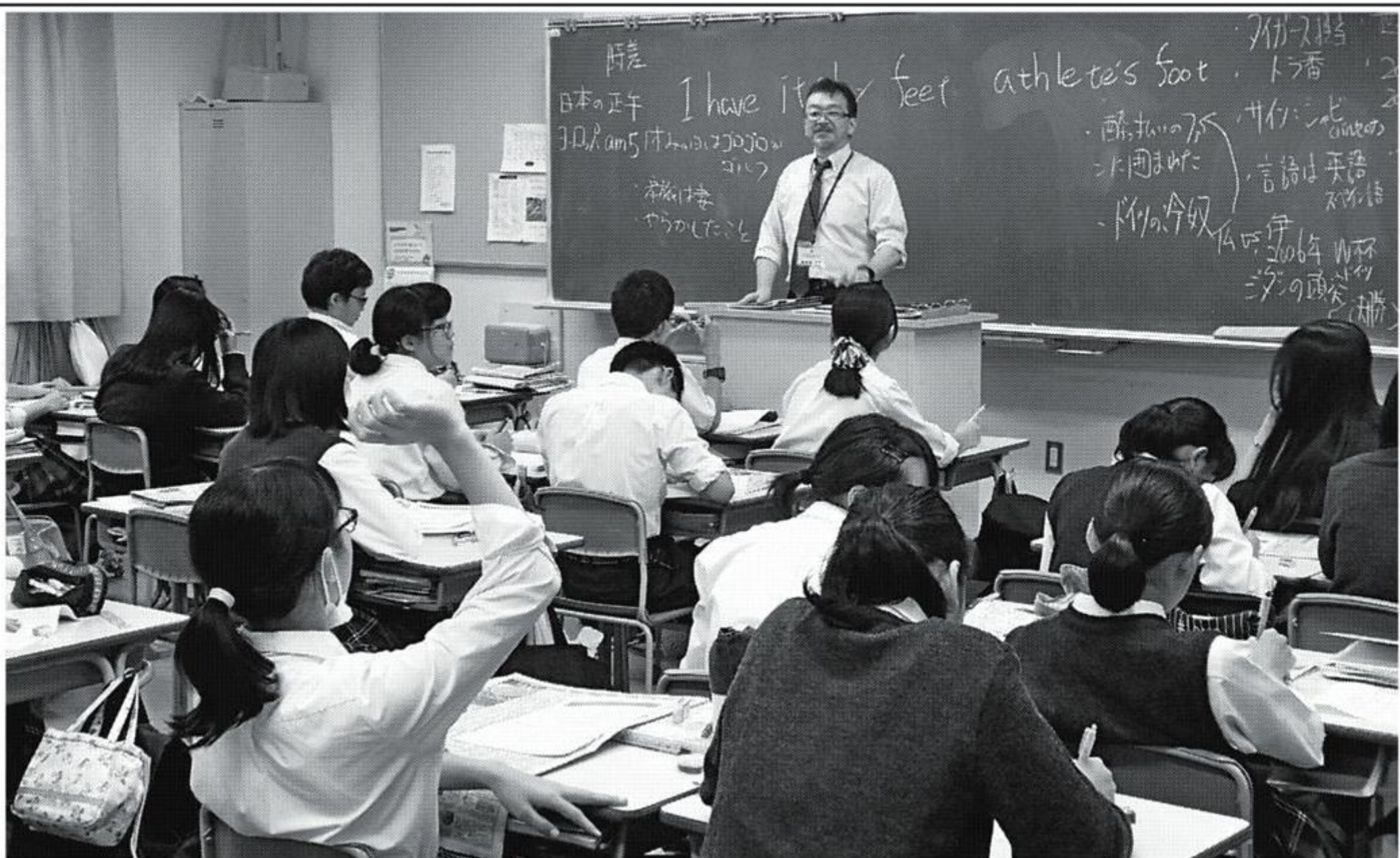


# 「模擬会見」で取材

## 桃山学院中の生徒ら挑戦



出前授業で、生徒の質問に答える産経新聞運動部の北川信行部長＝大阪市阿倍野区

まず、北川部長が運動部について説明。スポーツ記者になった理由として、「旅行が好きで、いろいろな国に取材で行けるから」と話し、外国人選手に取材することがあることから、

「スポーツ記者には語学が大切」と強調した。また、「試合での感動を、映像を使わずに文章で伝えるのが役割」と話した。

その後は、生徒たちが北川部長を取材。「インタビュをするときに一番大切なことは」という質問に、北川部長は「アバウトな質問をせず、焦点を絞った質問をすることが大事」と応じた。生徒たちは、北川部長の言葉を熱心にメモし、会見内容をもとに、記事執筆に挑戦していた。



学ぼう

新聞で

出前授業

企画室が出前授業を行った。本紙運動部の北川信行部長の「模擬会見」を同校の2年生が取材し、その内容を記事にした。

新聞を文化の一つとら

新聞を使った授業（NIE）に取り組んでいる桃山学院中学校（大阪市阿倍野区）で2日、産経新聞編集

えた「文化研究」という授業の一環。2年生は、これまでスクラップの仕方や記事の書き方などを学んでき